



コスモス

NO.42

校訓：支え合い 学び合い たくましく
学校教育目標

「ふるさとを愛し 志をもって
チャレンジする人を育てる」

『けんさくとあそぼ ～しゅんたろうさんの詩っておもしろい～』



今年も教育振興会のご支援で、すごい方をお招きすることができました。

《谷川 賢作（たにかわ けんさく）さんです。

タイトルは『けんさくとあそぼ～しゅんたろうさんの詩っておもしろい～』しゅんたろうさんというのは、詩人の故谷川俊太郎さんのことです。賢作さんは俊太郎さんの息子さんであり、ピアニスト・音楽家です。そして、賢作さんは俊太郎

さんといっしょに、たくさんのお合曲や校歌を作られています。また、作曲家・編曲家として、高倉健さん主演の映画『四十七人の刺客』の音楽や、NHKで放送されていた歴史情報番組『その時歴史が動いた』のテーマ曲、高島礼子さんと黒谷友香さん主演の映画『祈り～幻に長崎を想う刻（とき）』の音楽を作られた方です。そんなすごい方（でも、とても気さくで、優しく、明るい方で、大ファンになりました）と詩と音楽で遊ぶとどうなるのだろう！？という期待が大きく膨らんだ状態でコンサートに突入しました。

まず、2年生が『どきん』という俊太郎さんの詩を暗唱してくれました。動きもつけながら、よくそろった暗唱でした。次は5年生が、俊太郎さんの詩『きりなしうた』を群読してくれました。ユニークな内容を上手に表現してくれました。ありがとうございました。また、司書の貞廣先生も、読んでくれました。

そして、賢作さんのコンサートが始まりました。俊太郎さんの詩に賢作さんが曲を付けた歌を、弾き歌いしてくれました。題名は、『くじら』『わるくち』『イソップさん』『うんこ』『さる』。「楽しいなあ。びっくりしたなあ。不思議だなあ。なるほどなあ。・・・」と思う詩ばかりで、それにピッタリのメロディーと、賢作さんの歌声が素敵でした。

また、コンサートの直前に、賢作さんから『財田小学校校歌』の楽譜のリクエストがあり、お渡ししていたところ、いきなり本番で弾いてくださいました。いきなりなのにもものすごく上手で、さらには、ブラジルのサンバ調にアレンジして弾いてくださいました。即興で！凄すぎです！！音楽には、アレンジのおもしろさもあるんだなあ、音楽音痴の私も感動しました。

また、我が体育館のピアノを、「すごくいいピアノですね！！」とほめてくださいました。

子どもたちが賢作さんの音楽の世界にハマってきた頃、子どもたちの名前から詞を作って、曲をつけて、オリジナル曲を作ってくれました。自分の名前で作ってほしい人に挙手してもらったところ、全校の1／3ぐらいの子が手をあげたと思います。超積極的でした。時間の関係で、作ってもらえたのは3人でしたが、名前をひらがなで並べて、その文字から続く言葉を歌詞にしていきました。例えば、「さ：寒いけれど い：いつも元気で と：とっても う：うれしい」みたいな感じです。しかも、日本風、ボサノバ風、ブルース風などで弾いてくれて、「音楽っておもしろい！」って実感しました。

最後は『鉄腕アトム』でした。♪空をこえて うらう 星のかなた ゆくぞ～ アトム ジェットのかぎり・・・・・・♪どうでしょう、1番なら全部歌えるでしょうか？私は、世代としてはほんの少し後なので、冒頭しか分かりませんでした。でも、アトムが目の前に浮かんできました。この歌の作詞者は谷川俊太郎さんだったのです。会場のみんなで大合唱しました。

最後は、5年生と6年生の代表の子が感想とお礼の気持ちを伝えました。とても立派でした。

90分余りのコンサートがあっという間に終わってしまいました。音楽って楽しい、音楽って素晴らしいと実感しました。谷川俊太郎さんの詩って楽しい。谷川賢作さんの音楽って楽しい。詩と音楽が一つになると、みんなの心が一つになったり、広がったりすると感じました。とても素晴らしい時間でした。

谷川賢作さん、そして、谷川俊太郎さん、ありがとうございました。

